

令和2年度 東和中学校 学校経営方針

加賀市立東和中学校
校長 中野 務

I 校 訓 「 強い人 正しい人 美しい人 」

II 教育目標 「 生徒の成長を支援し、目標に向かって努力する心豊かな生徒を育成する 」

III めざす生徒像

T・・・たくましく何事にもくじけない心と力を持った生徒
O・・・思いやりのあるやさしい心を持った生徒
W・・・わたしとあなたの命を大切にすることを心を持った生徒
A・・・ありがとうと感謝する心を持った生徒

IV めざす学校像

- ・安心して学ぶことができ、一人ひとりに居場所のある学校
- ・保護者・地域とともに創る開かれた学校

V めざす教師像

- ・誠意と熱意を持ち、協力協働の意識の高い職員
- ・生徒一人ひとりを大切にし、生徒や保護者、地域から信頼される職員
- ・主体的に研究・研鑽し、ともに学ぶ職員

VI 教育方針(今年度の目標)

1 全職員が主体的に研究・研鑽し、確かな学力の育成に努める。

(1) 基礎基本の習得・定着を徹底する。

- ・生徒が「分かった」、「できた」、「使える」を実感できる授業（学習意欲の向上）
- ・習熟の程度に応じたきめ細かな指導（個別，TT，少人数等）
- ・家庭学習習慣の形成と補充学習の効果的活用

(2) 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学びの質を向上する。

- ・学び合いや言語活動を伴った表現活動の充実（思考力・判断力・表現力の育成）
- ・学校研究を通しての授業改善の推進
- ・学力向上ロードマップをもとにした組織的実践
- ・プログラミング教育の充実

(3) 学力・学習状況調査、アンケート等の結果分析と検証を充分に行い、課題を克服する。

- ・各種テストの分析・検証を生かした学習指導法や指導内容の改善
- ・生徒授業アンケート結果を参考にした授業力・指導力の向上

2 全ての教育活動を通して、学びを支える基盤を育成する。

(1) 生徒一人ひとりが安心して教育活動ができる学級づくり・学年づくりをする。

- ・規範意識の向上と環境整備

- ・生徒一人ひとりに居場所がある学級づくり（生徒指導の3機能）
- ・道徳教育，人権教育の推進と読書活動，体験活動の充実
- ・不登校の未然防止と早期解消
- ・特別支援教育の推進（インクルーシブ教育と合理的な配慮）

（2）基本的な生活習慣を身につけ，健やかな体の育成に努める。

- ・挨拶，返事，時間を守る，服装，係活動など当たり前のことができる生徒の育成
- ・疾病の早期治療，健康や体力づくり等の自己管理の推進
- ・食育・健康教育の推進

（3）特別活動の充実を通して，学校の活力を向上する。

- ・生徒会活動やリーダー会活動の活発化（主体性を引き出す仕掛け）
- ・ボランティア活動を通しての社会性や豊かな人間性の育成
- ・キャリア教育の推進
- ・部活動等を通しての「やり遂げる心」，「協力する心」，「我慢する心」の育成

（4）小中連携の充実と家庭・地域の教育力を活用する。

- ・義務教育9年間を見据えた学力向上と健全育成の推進
- ・郷土の伝統や文化に誇りを持ち，その継承・発展につながる教育の充実（地域人材活用）

3 教師と生徒，保護者，地域との信頼関係を築く。

- ・個々の生徒の良さ認め，支援（褒め，叱る）することによる信頼関係の構築
- ・いじめの未然防止と早期解決（いじめ問題対策チームの常設，SC，SSWや関係機関との連携）
- ・授業参観や学校行事参加を呼びかけ，保護者・地域と共に創る学校づくり
- ・積極的な学校情報公開（たよりの発行，ホームページ，メール配信，学校評価等）
- ・協力・協働の職場のもと，働き方を見直し，教育の質を維持しながらも業務改善に努める（人材育成，業務の平準化）